

子育て世代から「選ばれるまち」へ

令和4年 新年のあいさつ



新年、明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、健やかな新春を迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、年初から新型コロナウイルス感染症は収束の兆しを見せず、各種行事やイベントの中止・延期などを余儀なくされました。

一方で、東京2020オリンピック競技大会においては、本市出身のクレイ射撃日本代表・中山由起枝選手が混合トラップで5位入賞を果たし、また本市がホストタウンを務めたカザフスタン共和国空手チームの2選手が銅メダルを獲得されました。いまだ出口の見えないコロナ禍において、とても喜ばしいニュースとなりました。

秋には、感染症対策を徹底したうえで、たくさんの踊り手が参加し「祭りゆうき2021」を盛大に開催することができました。また「きものday結城」では、ベルギー王国の駐日大使に結城紬の着物を着ていただくなど、嬉しい出来事もございました。

これもひとえに、市医師会をはじめとする医療従事者の皆さまの全面的なご協力、また市民の皆さまのワクチン接種へのご理解、ご協力が

実を結んだものであり、改めて深く感謝を申し上げます。

迎えた令和4年におきましても、市民の皆さまと一緒に、ウィズコロナ・アフターコロナの取組を推進し、「第6次結城市総合計画」の将来都市像である「みんなの想いを未来へつなぐ活力あふれ文化が薫るまち」の実現と、輝かしい結城の未来に向けて市政を進めてまいります。

特に、本市の宝である子どもたちの学力と郷土愛の向上を図るため、地域特性を活かした教育環境づくりを進めてまいります。少子化の影響により、市内小学校においては複式学級となることも見込まれている中、子どもたちが安心して教育を受けられる環境づくりが喫緊の課題であると考えております。全国の子育て世代から「結城市で教育を受けさせたい」と思われるような充実した教育環境を提供することが、少子高齢化や人口減少の対応策になると確信しておりますので、市民の皆さまのご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びにあたり、令和4年が皆さまにとって輝かしい年となりますことを心よりご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

結城市長 小林 栄

音楽に関わるお二人と市長で語りました!

音楽の響くまち

～結城ジャズフェスティバルと特色ある音楽教育～

人の心を豊かにし、時には癒してくれる「音楽」。音楽が身近にあるまちは、豊かな市民の心が育まれるでしょう。より一層、音楽文化が醸成された「文教都市・結城」を目指して、今回は音楽に関わる皆さんをお迎えし、音楽によるまちづくりなどについて語りました。



結城市長
小林 栄

みやもと たかな
宮本 貴奈 さん
ピアニスト・作編曲家

結城市出身・在住。結城紬大使。結城東中時代からピアノとジャズ理論を学び、国際的に活躍するかたわら、国立音楽大学ジャズ専修講師として音楽教育にも携わる。2020年ボーカリストデビュー、同年ミュージック・ペンクラブ音楽賞の最優秀作品賞を受賞。

わたなべ まなぶ
渡邊 学 さん
県立下館工業高校教諭
同校ジャズバンド部顧問

桜川市出身。学生時代にマーチングバンドやジャズを経験し、県立大洗高校でのマーチングバンド指導などを経て、2011年に下館工業高校へ赴任。同校ジャズバンド部を全国大会に複数回出場させるなど、屈指の強豪部へ育てる。